

## 令和2年度 第2回社会教育委員会会議録

開催日時：令和2年10月15日（木）

午後1時30分～午後4時00分

開催場所：恵那市役所西庁舎災害対策室

- ・開会
  - ・あいさつ
  - ・委員変更の報告
  - ・議題
1. 令和2年度第1回社会教育委員会会議録について
  2. 第5期恵那市家庭教育支援計画の策定について
    - (1) 計画策定部会構成
    - (2) 計画策定ポイント
    - (3) 第4期計画の事業検証
    - (4) 第5期計画の事業一覧
    - (5) 第5期計画（案）
  3. 地域学校協働活動、コミセン現地確認について【別紙資料】
- ・その他
  - ・あいさつ
- ・出席者の数：社会教育委員14人中14人、事務局5人（以下のとおり）

	役職	氏名	選出団体等	出欠
1	委員長	林 達夫	三学のまち推進委員会委員	出席
2	副委員長	磯部 彰	図書館協議会	出席
3	委員	山内 正一	学識経験者	出席
4	委員	山田 恵市	文化振興会	出席
5	委員	鈴木 正司	恵那市青少年育成市民会議	出席
6	委員	森川 伸江	保育士・幼稚園教諭経験者	出席
7	委員	柘植 俊夫	民生委員児童委員協議会	出席
8	委員	柘植 弘成	壮健クラブ連合会	出席
9	委員	松村 通男	NPO まちづくり団体	出席
10	委員	田口 容子	放課後子ども教室コーディネーター	出席
11	委員	各務 周和子	保育士・幼稚園教諭経験者	出席

12	委員	水野 宏昭	恵那ライオンズクラブ	出席
13	委員	阪上 美代子	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会	出席
14	委員	篠原 徹	校長会代表	出席

#### 事務局

1	教育長	大畑 雅幸	恵那市教育委員会	出席
2	課長	鷹見 健司	生涯学習課	出席
3	課長補佐兼係長	新村 宏一	〃	出席
4	主任	加藤 視也	〃	欠席
5	社会教育指導員	遠藤 滋	〃	出席
6	〃	堀 春美	〃	出席
7	〃	和田 克子	〃	欠席

#### ・開会

##### (事務局)

定刻になりましたので、これより令和2年度第2回恵那市社会教育委員会を開催させていただきます。私は、当委員会事務局を担当しております生涯学習課の新村と申します。本日の会議資料は事前に送付させていただきましたが、本日も持参いただけただけでしょうか。お持ちでない方は申し出て下さい。また机上に、新たな資料として社会教育委員会の名簿と議題3の資料として「ホッチキス止めの資料」が1部、講演会のチラシをご用意してあります。不足の方がお見えでしたらご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症対策のため、会議室入室前の「検温」及び「手指の消毒」にご協力いただきありがとうございます。また会議中の「マスクの着用」にもご協力いただくようお願いいたします。会議時間も90分以内を目安に行いたいと思いますので、皆さまのご協力をお願いします。

会議次第の裏面に記載した「市民憲章」「三学のまち恵那宣言」の唱和を開会前に行っておりましたが、飛沫感染防止のため、中止とさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いたします。

それでは、事務局を代表しまして大畑教育長よりご挨拶を申し上げます。

#### ・あいさつ (教育長)

大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。今年は新型コロナウイルスの影響で半年以上、色々な行事が中止になり、何かと制限されている中で、社会教育委員会もこの時期で2回目と、例年より遅れての開催となっております。今は膠着状態にありますが、報道では多方面の専門家の方々によると必ず第三波が来ると言ったことを話して見えます。

本日は、議題の二つ目の「第5期恵那市家庭教育支援計画」の策定についてが、メイ

ンの議題になるかと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。私からは、三つ目に「地域学校協働活動」という言葉が出てきていますが、お陰さまで社会教育委員の皆さまにも自分の地域で携わっていただいております。コミュニティのバックボーンにある学校運営協議会と、それから地域に軸足のある地域学校協働本部が手を携えて、地域の活性化と、そこで育つ子供たちのよりよい成長を手助けしていきましょうといった趣旨で、市内 13 地域でそれぞれ特色のある活動を進めていただいているといった情報が入ってきております。大変ありがたいと感じております。その一方で、私も毎月、校長会に参加しておりますが、学校長の中には、地域学校協働本部と学校運営協議会の区別ができていないことが見受けられます。学校運営協議会というのは、学校長がその地域のそれぞれの立場の方と一緒にあって、より良い学校経営をしていくために諸々ご意見をいただき、そして最終的にご承認をいただきながら一緒に学校経営をしていく組織であります。これに対して地域学校協働本部というのは、地域という地域自治区といったところに軸足があって、その中で色んな子供たちに向けた活動をしていただきながら、子供たちの育ちに繋げ、併せてその地域の活性化にも繋げるといった組織となります。時には同じような行事を通して、一緒にやれることもあると思いますが、決して一緒になる組織ではありません。そういうことで言ってみれば、学校からも、それから地域からも応援していただいて、手厚い子育てをしていくことを目的としております。この様なことで、色々な動きが出てきて大変ありがたいと思えますし、今後ともご支援をいただきたいので、どうぞよろしくお願ひいたします。

#### ・あいさつ（委員長）

皆さま、こんにちは。今回は、災害が多く発生している中での委員会の開催となりましたが、皆さまの協力により、例年より委員会の活動が遅れておりましたが開催することができました。

委員会の遅れもあって、なかなか社会教育活動の事業に着手できていませんでしたが、その状況下で、何とか家庭教育支援計画の策定も頑張ってください。時間が限られた中ではありますが、計画の中で変えていけるところは変えていく必要があるかと思っておりますので、委員の皆さまから意見を伺いたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

#### ・委員変更の報告

（事務局）

選出団体である民生委員児童委員協議会より、前任の伊藤正明様が体調不良のため、民生委員児童委員を退任されたとの報告があり、後任として名簿の 7 番の柘植俊夫様が後任として指名されましたので 10 月 1 日付けで委嘱をさせていただきました。

委嘱書の交付に関しましても、新型コロナウイルス感染症対策のため、机上での配布にかえさせていただきます。ご理解のほどお願ひいたします。任期は、前任者の残任期間となる令和 3 年 3 月 31 日となります。

・議題

1. 令和2年度第1回社会教育委員会会議録承認について

(事務局)

※事務局からの資料に基づき説明。

(委員長)

事務局より事前に資料が送付されていますので、本日の委員会前には読まれてきていただいていると思いますが、ご意見などございませんでしょうか。もし訂正とか意見があれば事務局の方にご連絡していただくようにお願いします。

議題1はこれで終わりたいと思います。

2. 第5期家庭教育支援計画の策定について

(事務局)

※事務局からの資料に基づき一括説明。

(1) 計画策定部会構成

(2) 計画策定ポイント

(3) 第4期計画の事業検証

(4) 第5期計画の事業一覧

(5) 第5期計画(案)

(委員長)

事務局より事前に送付してあります資料2から資料6まで説明がありました。委員の皆さまより意見を伺いたいのでお願いします。

(委員)

感想ですが、書かれている文面から子どもの現状はその通りだと思います。せっかく事業計画を立てても、事業費を反映しないと重点政策など掴みにくいです。次期計画からは、お金だけでは判断できませんが、重点化したところに予算が付くと力の入り方がわかるような気がします。

(事務局)

事業一覧の項目を増やし、事業費の反映のわかるような表に改めたいと思います。

(委員)

資料を見て、事業の点検作業は理解するためには必要でわかりやすかった。数点確認したいのですが、保護者アンケートの割合を教えてください。また事業の仕分はどのように考えているのか、また家庭教育学級に関わってもらう仕組みの具体的な考えがあれば教えてください。

(事務局)

保護者アンケートの回答は137人に回答していただいております。事業の仕分に関しては、第4期計画で検証した内容を踏まえ、第5期計画に反映していきたいと考えてい

ます。家庭教育学級の具体的な考えは、現在、平日のみの開級となっているため、来年度は土日開催を計画するなど、きっかけづくりを考えていきたいと思ひます。他で土日に実施している事業もありますので、横との連携を深め実施していきたいと思ひます。

(委員長)

前例を踏襲するのではなくて、工夫しながら取り組んでいくことが重要だと思ひます。

(委員)

事業一覧の中の「高校生の職場体験」に関して、実施した5校はどういった学校で、市内の企業を見学したのか。また参加した人数とかそういった情報もほしいです。

(事務局)

手元にデータがないため、商工課に確認して、今後情報を提供していきます。

(委員)

難しい問題が起こるときがあります。それぞれの立場で大変なことがあるので理解できます。スポーツ少年団で育成とかに携わって、人と接していると、勉強やしつけは小さい時が大切なことを実感します。また子どもの数も減り、対象が低年齢化しています。今ではこども園の年長も対象に育成する状況になってきています。

(委員)

先ほどの「高校生の職場体験」での話になりますが、参加したものがいじめにあったと聞きました。再度またそこに行かせる学校のやり方は、子どもの状況や情報を掴んでいないことになります。その時に良い思いをしていないので、職業に就くことに対して良い思いを持ってなくなっています。職場体験の目的を明確し、互いに連携をとって成果の出る政策にしてほしいです。

(事務局)

商工課に確認したところ、平成31年度実績として、高校3年生469人が参加しています。市では参加する時のバス代を支援している状況です。

(委員長)

商工課にきちんと事実を伝え、職場との連携をとってほしいと思ひます。

(委員)

子どもたちに働かせる事業を起こすことは意義があると感じます。自前の話になりますが、孫には土・日の朝や晩に仕事を与えています。野菜や栗、牛に関わる労働に携わらせているので、体験を通して牛のことなど観察力もあります。大人が関心を持たせるような環境を与えることが重要です。また、父母や祖父母によるしつけによって厳しさも身につきます。そのことで探求心が育ち、大事な仲間として、友達を大切にする心が養われると思ひます。子どもたちは働くことについて、大人より関心を持っています。最近では子どもよりも老人のほうがおかしくなっています。今までのような老人クラブではいけないと思ひています。男尊女卑をなくすことや女性の地位を高める問題など、高齢者も思いついた時にチャレンジする精神を失わないこと、外に出て活動すること、高齢者の引きこもりなどといった問題もあります。社会教育の中に何か位置付けてほしい

と思っています。子どもは未来があるが高齢者は今が現役で、この機会を逃したら、後がないと思っています。その中で地域にある運動場をグリーングラウンド（芝生広場）として活用できないか提案しています。そういったところが出来れば、高齢者が集い、施設の手入れもするので、新たな生きがい生まれると考えています。また葬式は、人間の中で一番大切な儀式であるという意識を希薄化させないでほしいと思っています。職場体験で仕事の楽しさを味わえる機会も必要ですが、教育に対する市の方針として「死の尊厳」から死に対する教育も願うところです。

（委員）

職場体験について、農高生は3日間栗拾い体験をし、とても楽しかったように見えました。中野方では、中学生がふるさと祭りなどボランティアの形で地域に関わってもらっています。実際に汗して体験してくる中学生、企業のセクションを聞いてくる高校生の実状から体験と見学の使い分けはどうなっているのかと思うことがあります。

（委員）

資料3の策定ポイントの中の「課題・意見等整理」のところで、恵那市の子育て環境に関して「良い・やや良い」と感じている人の割合が30%あります。自分の考えでは10人に3人の割合はかなり高いように感じています。市の成果と考えます。保護者の負担を少なくする取り組み、塾の負担、医療の負担等も手厚いし、恵那市の場合、15歳までが医療費無料になっています。子育て環境が良くないと思っている人の声はどうかと考えます。

（委員）

事前に資料が送られてきたので、ひと通り目を通させていただきました。また前回委員会で配布していただいた第4期計画も確認させていただき思ったことは、ずっと内容が入ってくる感じがしました。意見としては、計画書10ページもわかりやすく表現されているので、せっかくなら事業一覧とリンクさせると良いと感じています。

（事務局）

第5期計画の事業一覧の中で、7つのステージを反映させていきたいと思います。

（委員）

家庭教育、親への教育、親に対しては教育されていると思われぬような工夫が必要だと思っています。親をどういう風に仕向けて行くのか。図書館でサポートしながら、読み聞かせを行っていますが、実践の場がほしいと思っています。やることは簡単ですが、子どもを集めることに苦慮しています。「えなっとだより」でも啓発はしていますが、なかなか集まらない状況です。また広報えなの中の図書館コーナーで行事や予定をお知らせしています。計画書11ページは良くできていると思うので、その中に親の育ちがわかるような具体的な手立てを明記できると良いと思います。

（委員）

4～5月はコロナで全く動きとれない状況でした。そのこともあり、難度の高い部会だと思っています。検討する時間が足りないとも感じています。平成20年度時の計画

策定時、現役時代から参加しています。事業が多すぎて1つ1つの事業の繋がりが複雑になっています。課題を踏まえた取り組みであってほしいと思いますし、%だけ出していいものだろうかとも思うところがあります。乳幼児からこども園、小学校に筋道と積み上げと家庭教育への後押しをする指導者となる立場を確保することが必要であると考えます。指導員への補助も必要だと思えます。ないものねだりではなく、すでに起こしている事業は繋げていく、土台を確かにすることが大切だと思います。来られない、参加できない、本当に支援しなければならない立場の方へのところには、担当者から出向くべきだとも思えます。一人親家庭が増えてきたので来られない人、10月から保育料が無償化になり、こども園にも変化が出てきました。今、来ている家庭の親さんを中心に働きかけていくことが大切ではないかとも思っています。また核を作ったところは、繋がった活動ができると考えています。

(委員長)

皆さんのからの意見を受け、課題が何か、さらに拾い上げていく必要があると思えます。また計画書11ページにスポ少の指導者も教育的立場になるので、図に入れてほしいと思います。そして、中津川市の教頭先生の話で、小学生がラインゲームでお金のやり取りをしている事案があり、親も気づいていなかったということがあったと聞きました。いじめに発展してしまう事案でもあるので、そういった対策に関しても計画の中に盛り込んでいけたら良いと必要性を感じています。具体的には、スマホの使い方など教育してほしいと思います。色んな意見や指示をいただいたので、事務局は大変かと思いますが、そのことを反映して、今回の会議で協議できればと思います。

### 3. 地域学校協働活動、コミセン現地確認について

(事務局)

※事務局からの資料に基づき説明。

(委員長)

11月20日に三郷コミュニティセンターにおいて、三学塾塾長と社会教育委員が合同で研修を行うので、皆さんのご参加をお願いします。

・その他

(委員)

前回委員会で配布された令和元年度の「学校運営協議会の成果と課題」を読ませてもらいましたが、5年前ぐらいから恵那市が力を入れて推進してきたコミュニティスクールの形が出来てきたのだと実感することが出来ました。東京の方で聞いた頃には考えが及ばなかったところがありましたが、こういった取り組みを進めていくことが大事であると感じたので、感想として述べさせてもらいました。

(事務局)

本日配布したチラシは、10月21日に多治見市で開催される「島田妙子氏講演会」に

ついてです。内容的には児童虐待防止等に関することですが、参加を希望される委員がお見えでしたら事務局まで申し込みください。取りまとめは、市役所社会福祉課で行っていますので、申し込みがあればこちらから報告させていただきます。

・あいさつ（生涯学習課長）

本日はお忙しい中、活発なご意見をいただきありがとうございました。また長時間にわたり、本題の家庭教育支援計画策定に関しても議論いただき、その中で色んなご意見もいただきました。計画策定は、一般的にはコンサルタントが入って、こういった委員会にも参加して纏めていくといった作業をするのですが、餅は餅屋といった言葉がありますが、そこで終わってしまうこともありますので、今回に関しては、より実の立った計画を策定するということから担当者が大変苦勞して取り組んでいます。計画倒れにならないよう作りこんでいき、計画に位置付けられた必要とされる事業の予算の確保に向けて取り組むことが必要になりますので、私の方でその辺りをしっかり対応していきたいと考えております。本日は誠にありがとうございました。

令和2年10月15日（木）  
社会教育委員 林 達夫  
社会教育委員 磯部 彰